

三夕 磐城時報

編輯 石城郡平町新屋町十四
印刷 磐城石城郡平町新屋町十四
電話 磐城石城郡平町新屋町十四
發行 磐城石城郡平町新屋町十四
一、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
二、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
三、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
四、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
五、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
六、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
七、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
八、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
九、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓
十、部金貳圓一ヶ月金貳拾圓

若松縣會議員を

瀆職罪で告訴

赤井村長時代の出来事 縣參問題のシツへ返しか

猛烈な競争を続けた結果野崎滿藏氏が一敗地に塗れ、若松美三氏が遂に縣參事會に當選した事既報の如く、野崎氏一派の人々は恨み骨髄に徹した感あり、到底このまゝではすまないであらうと察せられてきたが、たゞ今一回平町町猪狩千勝氏は若松美三氏を相手取つて平檢事務局に瀆職罪の告訴を提起したので、巷間では、これ即ち野崎氏一派の縣參問題に對するシツへ返してあらうと觀測し、その余りに意外な行爲に呆然としてゐる。

告訴の内容は、三年前若松美式會社に有利なる答申をなし、三氏が赤井村長在職當時の問題の報酬として村長退職後小玉川で、當時小玉川電氣株式會社、電氣株式會社から數百圓の贈賄福島炭礦株式會社外一社の三社をうけ、更に十二圓五十錢拂込が小玉川上流に於ける水利権のみ小玉川電氣株式會社株式三出願をなし三社競願の状態を互十株を賣ひ受けた事は明らかに競争をしてゐる際若松美三氏瀆職を構成するものであるといは縣の諮問に對し小玉川電氣株ふ理由である。

福島檢事正の指揮を仰ぎ 近く一應取調べか

縣でも成行きを憂慮 私人一點やましい事はな

告訴された若松美三氏

右告訴状を手にした平檢事務局でつたらしいが、縣當局ではこの裏面に政略的魂膽が伏在して問題が與黨同志の泥合戦であるものゝと睨み、福島檢事正の指ため成行きを憂慮し調停方を釘を押し上近く若松縣議を召本幹事長に依頼する所あり、釘一應の取調べを行ふ事にな本氏は淡縣會議議長と共に調停中

株式三十株は造つてよこしたが一株について三十七圓五十錢の拂込義務のある株式を貰へば借金を貰つたやうなわけになるので、その株式は直ちに送りかへした。以上の事實で私に一点やましい處はない。云々

黑白判明せん

某法曹家談

右問題に關し平町某法曹家は語つた。私を告訴したといふ話は聞いてないが、私に一点やましい事がないから心配はない。調べて貰ひば私の潔白は判明する事だから却つて誣告罪で告訴しても好いと思つてゐる。私が小玉川會社から何百圓かを受取つたといふが、私にそんな腕があれば今頃かうしては居ない。金など一文も貰はぬ。

電氣會社で自發的に 一部分の値下げ

平町の要求に對しては 重役協議の上解答

平町電氣料値下交渉委員 馬目武之助、馬目雅治、萩原義雄、柳下元吉、花澤鬼五六、千葉彦治、緑川喜三郎の七氏は伏見平町長と共に二日午前二時上京し東部電力株式會社本社に西山常務取締役を訪問し値下げ要求を示して交渉した。西山常務は要求に應じ難いといふので更に午後前島副社長に交渉した。前島氏は平町の意志を諒し近く重役と協議し、た上返答する事を約したので委員一同は辭去した。尚ほ東部電力株式會社では電燈布設五十年記念として十二月一日から左の郡大野村に於て出水のため稲東流失した、反別四町歩にして被

平署移廳祝賀式 式後聚樂館で祝宴

荒川善太郎、仲町小港平次郎 仲町根本金七

平警察署移廳祝賀式は来る七日午前十時から同所演武場で行ふが各官公衛、各學校長、有志等を招待し式後聚樂館で招待者を集め火防宣傳の活動寫眞を上映し乍ら祝宴を張る筈で、準備のため平消防組員が奔走してゐる。

町議失格

行政訴訟 二日手續完了

平町町會議員坂本隆三、緑川喜三郎兩氏の失格問題に對して伏見平町長は過日の町會に於て町會の權威保持のため行政訴訟を提起し最後まで争ふこととなつたが、右問題に對し町當局の諸準備も完了したので二日東京行政裁判所に書面を以て右手續きを取つた。

防火の實演

平消防組で 消防組では十日から十五日迄の間に消防組員の非常召集を行ひ火災を假想して防火の實演を行なす筈で召集の際には警鐘を打つて知らしむる由である。

委員上京

平町の電燈料値下委員 萩原、花澤、馬目武之助、柳下馬目(雅)の七町議及び伏見町長は東部電力社長橋本氏が在社の通知に接したので二日午前一時發の車急で出京丸の内八重洲ビル本社を訪れた。

夜警開始

平消防組で 二十五日から百日間夜警を行ひ火災を豫防する事になつた。

圍碁戦成績

磐城日立恒例圍碁戦は一日午前九時より石城郡内郷村磐城俱樂部に開始した。前回の雪辱戦にて磐城軍大いに奮闘したが四十四對卅八點の差で日立軍の返り討ちの惨敗をなす午後五時終了した。優勝成績左の如く非常な盛會を見せた。

相馬郷友會

七日一の井で 石城郡在住相馬郷友會並に馬城會支部總會は来る七日午後五時から平町町驛前一の井に於て會員齋藤敏實氏の町會議員當選並に松枝茂氏の學位授與祝賀を兼ねて開催する事になつたが會費二圓で多數出席者を歓迎す。

巡回診療

磐城共濟病院 賀澤忠治(寄) 磐城共濟病院は設立以來五ヶ年、常に地方濟生の爲に種々難關ありしにも不拘完全徹底をモットーとして躍進し來り猶且つ此の間一般貧困者救療事業として所謂巡回無料診療班を併設し毎本院博士數名を派遣して之に従事し來りたることは地方の齊しく知る所にて、仍ち其の施行に於ては地方患家の競つて本院の奉仕を驚喜的に迎ひ、毎回の患者數百數十名を下らず、殊に本月一日第十四回双葉郡富岡町に於けるが如き、當日は彼の風雨にも屈せず本會々長以下五博士外看護婦等十有餘名にて午前五時四十分平驛を出發し富岡驛前總屋支店を假診療所に充て來診を待たるに早朝より午後五時迄二百餘名を檢診して尙殘余の數十名は遺憾ながら次回に延したるが如き盛況を呈したるは是れ偏に本會の信念奉仕を實際に物語る證にて今後倍々斯の意義ある責任と共に斯かる社會事業の急要なることを切實に感じて更に本會は大いに自重し尙倍々理想的に勇往邁進するものである。

▲一等安家 ▲二等小神 ▲三等五十嵐

